

障害者支援施設第2光風寮 令和7年度 地域連携推進会議 議事録

- 1 開催日時 令和7年9月12日（金曜日）10時00分より
- 2 開催場所 障害者支援施設 第2光風寮 会議室
- 3 出席者 利用者：2名
家 族：1名
地域の関係者：NPO 法人 高齢者・障害者サポートクラブ 3名
職 員：運営責任者含め4名
- 4 欠席者 なし
- 5 議長 運営責任者
- 6 議事録作成 職員

【議長】

令和7年度障害者支援施設第2光風寮、地域連携推進会議の開催宣言と挨拶。

1. 育心会の概要
 - ・育心会の歴史紹介
 - ・育心会施設の紹介
2. 第2光風寮の概要
 - ・1988年4月開設 37年経過
障害者総合支援法に基づいたサービス提供 昼間：生活介護 夜間：施設入所支援
短期入所：併設型3名
3. 事業計画（行事計画）
 - ・年間行事計画をもとに説明
施設内研修（年12回）・職員会議（年2回）運営会議（年3回）
各委員会・行事（食事会・納涼会・日帰り旅行・忘年会）・避難訓練（年4回）
広報誌（年4回発行）
4. 利用者状況
 - ・利用者人数：男性55名・女性26名 計81名（令和7年9月1日現在）
 - ・平均年齢：53.8歳
 - ・平均支援区分：5.56
 - ・入退所状況
入所：令和6年3名 令和7年1名

退所：令和6年9名 令和7年2名

- ・入院状況

入院：令和6年27件（うち肺炎13件） 令和7年2件

- ・成年後見人制度利用状況

53名が利用

- ・感染症状況報告（令和6年度）

新型コロナクラスター 8月19日～9月9日

インフルエンザクラスター 1月4日～1月29日

各種肺炎 1月7日～3月20日

5. 職員状況

- ・職員構成（令和7年9月1日現在）

運営責任者1名 サービス管理責任者3名 生活支援員29名 事務員1名

6. 虐待・ヒヤリはっと・事故報告書等

- ・各委員会の活動報告（年間活動計画）

虐待防止委員会

身体拘束適正化委員会

感染対策委員会

- ・令和6年度 苦情・要望受付状況

苦情0件 要望1件

- ・令和6年度 事故報告提出状況

総提出数53件（薬関係26件、怪我関係20件、その他7件）

- ・令和6年度 ヒヤリハットと提出状況

総提出数53件（転倒・転落、薬関係、利用者間トラブル、施錠忘れ等）

7. 個別支援計画（意思決定支援）

- ・個別支援計画書について

アセスメント→個別支援原案作成→個別支援会議→個別支援会議本案作成→
説明・同意・交付→サービス提供→モニタリング

- ・地域移行等意向確認等について

令和8年度から義務化

指針・マニュアルの作成

地域移行等意向確認担当者の選任

意向確認の実施

個別支援計画への反映

※項目 1～7 については、職員が説明を担当しました。

8. 質疑応答

【利用者】

- ・要望・意見等を伺う。特になしのご返答。

【家族】

- ・後見人制度を利用するご家族が増加している中で、保護者会への参加者や運営に関わる人数が減少傾向にある。そのため、後見人の方にも保護者会への参加を呼びかけてよいか、また施設側からも参加を促すような働きかけが可能か。
→保護者会から後見人の方へ声をかけていただくことに問題はありません。ただし、施設として保護者会への参加を促す立場にはなく、直接的な働きかけは行えません。（運営責任者）
→（後見人の立場として）声をかけていただくこと自体に問題はありません。ただし、後見人とご家族では活動の目的や役割が異なるため、家族同様の参加は難しいと考えます。（地域の関係者）

【地域の関係者】

- ・個別支援計画書の作成にあたり、利用者から具体的にどのような要望があるのか。
→最近の要望として、「日帰り旅行に行きたい」「スカイツリーに行ってみたい」といった声がありました。（職員）
- ・個別支援計画書の作成において、地域移行等意向確認と併せて要望を反映するのか。
→基本的には、利用者の要望をまず受け止め、可能な範囲から対応していきます。ひとつずつ確認・検討しながら計画に反映していきます。（運営責任者）
- ・ドライブ支援の頻度は職員体制によるものか。
→職員体制は大きく関係します。職員によるドライブ支援にはリスクも伴うため、慎重な対応が必要です。日帰り旅行は搬送業務課に依頼し、計画的に実施しています。一方、ドライブ支援は職員が公用車を使用して近隣へ無理のない範囲で行っています。（運営責任者）
- ・搬送業務課と連携し、リスクも考慮しながら検討することは可能か。
→今後は単独施設で完結するのは難しく、多方面との調整が必要です。検討は進めますが、連携体制の構築が重要です。（運営責任者）
- ・生活介護における日中活動については、より積極的な取り組みが求められます。利用者の意向を尊重し、育心会が有するネットワークを活用して各施設・関係者が役割分担を行うことで、利用者の希望に沿った支援が可能となるのではないかと考えています。

→従来の支援の概念を見直す必要があります。意向を叶えるためには、単独施設では限界があり、他施設との連携が不可欠と考えています。(運営責任者)

- ・育心会の施設数を活かし、障害の重さに応じたメリハリのある支援や在宅支援の強化が必要ではないか。

→法人としても、社会のニーズと育心会の現状を踏まえ、今後の方向性を検討しています。不足している支援領域については、強化を図っていきたいと考えています。(運営責任者)

- ・ショートステイ枠(3名)に対し、近隣地域からの利用はあるか。

→近隣地域からの利用は少なく、遠方からの緊急利用が多い傾向です。たとえば、8050問題により介護者が不在となったケースや、問題行動によりグループホームの利用が困難になった方からの利用希望が見られます。(職員)

9. 施設訪問の感想

家族 (訪問日時: 9月3日 11時00分)

- ・9月3日に訪問し、見学させていただきました。昼食は利用者の方々と一緒にいただきましたが、ボリュームもあり、とても美味しかったです。与薬の様子も見学させていただきました、薬の管理がしっかりされていることに安心しました。定期的に面会を行うことで、利用者の状態の変化がよく分かると改めて感じました。ご家族の方々にも、面会の大切さを積極的に伝えていきたいと思います。

地域の関係者 (訪問日時: 9月4日 9時00分)

- ・先日は、新たに導入された機械浴槽を見学させていただき、ありがとうございました。コロナ禍を経て、利用者の方々の重度化が進んでいることを改めて実感いたしました。見学中、利用者の方が何かを訴えられた場面がありましたが、支援員の方が迅速に対応されている様子を拝見し、安心感を覚えました。

地域の関係者 (訪問日時: 9月4日 9時00分)

- ・施設見学の際、利用者の方がご自身なりに一生懸命モップを持って掃除に取り組まれている姿が非常に印象的でした。その様子から、日々の支援が利用者の主体性を尊重し、個々の意欲や行動を大切にされていることが伝わってきました。

以上、議長は議事が全て終了した旨を告げて、11時10分に閉会となる。